

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市波川町三丁目5番地7  
 (波川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878



▲大樹寺山門(県指定文化財)  
 寛永18年(1641)徳川家光公建立  
 樓上に徳宗(徳川家光の御孫)の宸筆「大樹寺の勲業重要(大樹寺の勲業重要)」が掲げられている。

大樹寺とは唐名で將軍の意、4代親忠の創建、松平三代の位階と家康から14代までの將軍の位階本人の御身入(が安置されている)。  
 構狭間で敷れ進め込んだ家康は先祖の墓前に有客しようとしたが、時の住職の言葉(厭離穢土)使未浄土)により思いとどまったという。また徳川家光は祖父生誕の地を望めるようにと本堂から山門(総門)(現大樹寺小堂(松平山門))を通りて周回式が是元をよう伽藍を配置した。

松平・徳川家の菩提寺  
 大樹寺



多宝塔(国重要文化財)  
 天文4年(1535)松平清康公建立。一層は方形、三層は円形の格調高い多宝塔である。最も古い建物、足利末期にできた多宝塔の美しさはたゞそれだけではない。

▲(市指定史蹟) 松平四代親忠公は大樹寺創建の際先祖三代の墓を御祭し、廟所を創建、元和三年(1616)家康公一同にあり、二代將軍秀忠公は先祖松平八代の廟所を修復再建した。



▲岡崎城 龍城神社にも鉢植のクマアザミがある。

大樹寺より岡崎城を拝む(クマアザミ) 家康公生誕の地 岡崎城を拝しました 岡崎城よりお守りした。徳川歴代將軍並に松平(先)祖様を初念(念)するより、大樹寺の建物より、三代將軍徳川家光公が寛永の大造営により、本堂、大方丈以下の5層の伽藍を配置した。 神皇(家康公)を尊厳す。家光公の意は、300年の時が流れても岡崎守民は守りぬ。

